



平成28年 4月22日

各 位

会 社 名 株式会社 セキド  
代表者名 代表取締役社長 関戸 正実  
(コード番号 9878 東証第二部)  
問合せ先 取締役執行役員管理部長 弓削 英昭  
(TEL. 03-6273-2053)

## 特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年4月3日に公表いたしました平成28年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上について

平成28年3月期第4四半期(平成27年11月21日～平成28年3月20日)において、一部店舗の固定資産について、収益性の低下が見られたため、該当する固定資産について減損損失を62百万円計上する見込みとなりました。

#### 2. 業績予想の修正について

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年2月21日～平成28年3月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,400	160	90	60	4.23
今回発表予想(B)	10,600	△290	△375	△460	△32.45
増減額(B-A)	△1,800	△450	△465	△520	
増減率(%)	△14.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期)	10,168	△686	△758	△855	△60.37

#### 修正の理由

足元の景気は一進一退の状況であります。先行きの不透明感もあり、個人消費は力強さに欠ける状況であります。上半期に需要を牽引してきたインバウンド需要にも変化が見られ、春節や花見シーズンの観光客は増加しておりますが、一方で観光の形態や目的の多様化も進み、買い物中心の団体ツアーだけでなく、個人旅行、自由旅行を楽しむ観光客も増加しております。

このような状況の中、当社の業績において最も大きなウェイトを占める年末・年始商戦と、インバウンド需要の増加が期待された春節から花見シーズンにおいて、計画の売上高を下回る結果となりました。利益面では、チラシ販促の削減などによる大幅なコストカットに取組み、利益確保に努めましたが、売上総利益の減少をカバーできず、営業利益、経常利益とも450百万円程度、計画を下回る見込みであります。

そこで、早期の業績回復を目指すべく、資産入替えによる収益力の強化に取り組めます。これに伴い、減損損失を62百万円計上する見込みであり、当期純損失は460百万円となる見込みであります。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料の予想数値と異なる可能性があります。

以 上